

建設発生土の受入れに関する特記仕様書

(適用)

第 1 条 本仕様書は、公共工事等に伴い発生する建設発生土(以下「建設発生土」という。)の受入れに関し必要な事項を定めるものとする。

(受入地等)

第 2 条 受入地は、以下のとおりとする。

- (1) 受入地の名称：麻溝台・新磯野第一整備地区
- (2) 場所：相模原市南区麻溝台・新磯野地内
- (3) 受入地事業の名称：麻溝台・新磯野第一整備地区土地地区画整理事業

(受入予定時期等)

第 3 条 受入予定時期等は、以下のとおりとする。

- (1) 受入予定時期：令和 7 年 7 月 1 4 日 から 令和 8 年 2 月 2 7 日 まで
- (2) 受入日：原則として、月曜日～金曜日（国民の祝日（振替日を含む）、年末年始休暇を除く）とする。ただし、場内整理、悪天候等により土砂の搬入が不適切と判断される場合や搬出側工事との受入工程の調整により受入が必要と判断される場合は、発注者と協議の上、搬入を制限及び緩和出来るものとする。
- (3) 受入時間：9：00 から 17：00 まで
- (4) 夜間の受入れ：不可

(受入可能な建設発生土)

第 4 条 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成 3 年法律第 4 8 号）第 1 0 条の規定に基づく第 3 b 種建設発生土とし、改良土は除くものとする。また、土壤環境基準を満足するものとする。

ただし、以下のような土砂は受入れしないものとする。

- (1) 地質分析試験に定める基準値を超える土砂
- (2) コーン指数（室内試験）が 400kN/m² 未満の土砂
- (3) 最大粒径 75mm を超える土砂
- (4) コンクリート殻等の産業廃棄物及び廃棄物混じり土

(必要書類の確認)

第 5 条 発注者は、相模原市発注工事により発生した建設発生土の受入れに伴い、搬出側から受入れに必要な書類を受領するものとし、受注者は、発注者による書類の確認完了後に受入れが出来るものとする。

(立会い)

第 6 条 受入れる建設発生土について、発注者が目視確認等が必要であると判断し、受注者に立会いを依頼した場合は、受注者は立会いに協力しなければならない。

(受入管理)

第7条 本業務の契約後、本現場はUCR建設発生土の受入地となることに伴い、発注者と㈱建設資源広域利用センター（以下「UCR」という。）において、建設発生土搬入に関する協定を締結していることから、受注者は、当該協定により定められたUCR建設発生土の受入管理業務について、UCRと協議及び調整の上、履行するものとする。なお、受入れにあたり、性状が著しく悪い建設発生土を確認した場合は、速やかにUCR及び監督員に報告し、対応について協議するものとする。

(搬入整理券及び完了報告書の発行)

第8条 発注者及び受注者は、相模原市発注工事により発生した建設発生土の受入れについて、搬出側から提出される「土砂搬入（変更）承認書（共通特記仕様書（第2号様式）」の受領により、搬入整理券（チケット）を発行し、受入れが完了した場合は、「土砂搬入（変更）完了報告書（共通特記仕様書（第3号様式）」を発行しなければならない。

(近隣住民等)

第9条 受注者は、受入れに伴い近隣住民等に対して、以下のとおり配慮しなければならない。

- (1) 搬入車両等の原則左折入退場を徹底すること。
- (2) タイヤに付着した土砂等を道路に落下させないように配慮するとともに、落下させた場合は、必ず清掃し原状回復すること。
- (3) 近隣住民に対し、業務着手前にお知らせ等により業務内容について周知すること。
- (4) その他、発注者が必要と認め指示したもの。

(施工方法)

第10条 設計図書に基づき、受入れた建設発生土を搬出工事毎に集約し仮置きするものとする。なお、受入土量等の不確定事項により、施工が困難な場合等については、受注者は速やかに発注者に連絡の上、受入土の対応について協議するものとする。

(補則)

第11条 本仕様書について、発注者と受注者との相互の間に疑義が生じたとき又は本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定める。